

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	大阪市立大学
設置者名	公立大学法人大阪

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
商学部	全学科	夜・通信	42	0	0	42	13	
経済学部	全学科	夜・通信	42	0	0	42	13	
法学部	全学科	夜・通信	42	0	0	42	13	
文学部	全学科	夜・通信	42	0	0	42	13	
理学部	全学科	夜・通信	42	0	0	42	13	
工学部	全学科	夜・通信	40	0	0	40	13	
医学部	医学科	夜・通信	42	0	0	42	19	
	看護学科	夜・通信	42	0	0	42	13	
生活科学部	全学科	夜・通信	42	0	0	42	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/class/common_curriculum

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪市立大学
設置者名	公立大学法人大阪

1. 理事（役員）名簿の公表方法

公立大学法人大阪のWEBサイトで公表 https://www.upc-osaka.ac.jp/about/directors/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
常勤	(前職) 大阪府市副首都推進局 総務・企画担当部長	2020年4月1日～ 2021年3月31日	総務、財務担当
常勤	(前職) 公立大学法人大阪市立大学 副理事長	2019年4月1日～ 2021年3月31日	人事、経営戦略担当
常勤	(前職) 公立大学法人大阪府立大学 理事長・学長	2019年4月1日～ 2021年3月31日	社会・学学連携、 情報、高専担当
常勤	(前職) 京都大学 教育推進・学生 支援部長	2019年4月1日～ 2021年3月31日	新大学設置準備担当
非常勤	(現職) 小野薬品工業株式会社 代表取締役社長	2019年4月1日～ 2021年3月31日	渉外担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪市立大学
設置者名	公立大学法人大阪

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>学生の履修登録時の資料として、また、授業開始後は学習を進める際の参考のため、提供するすべての授業についてシラバスを作成している。</p> <p>シラバスには、「授業形態」「科目の主題」「授業の到達目標」「授業内容・授業計画」「事前・事後学習の内容」「評価方法」「受講生へのコメント」「教材」が必ず記載されており、対外的には大学のウェブサイトで公開されている。</p> <p>シラバスは、前年度の11月頃に作成を開始し、3月上旬までに全ての学部で公開されている。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/class/syllabus#syllabus</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各授業においてディプロマポリシーとカリキュラムポリシーに即した到達目標や成績評価の方法をシラバス等であらかじめ提示し、それに則した厳格にして適切な成績評価を実施している。加えて、各学部を設置したFD委員会において各授業科目の成績評価が適切に行われているか検証している。</p> <p>また、学生が各自の卒業後の進路等の目標に応じて、自らの学修成果を自己評価できるように、成績評価に基づく学生の学修成果評価指標であるOCU指標を導入し、総合大学である本学の多様な学生全てに求められる学修成果と、各学位プログラム特有の学修成果両方の質的・量的な直接評価を「OCU指標」に統合、他の間接評価指標と合わせて活用、授業内外での能動的学修支援等も含む「総合活用スキーム」全体を通して、学生・教員・大学がそれぞれ学習・教育実践・カリキュラムの改善に役立て、卒業時の学修成果の質保証につなげている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 平成 25 年度入学生から国際的通用力を有する教育を保証する一環として、「GPA(Grade Point Average)基準」を導入しており、算出方法についてはウェブサイトで公開している。</p> <p>算出方法 AAを4点、Aを3点、Bを2点、Cを1点、F・欠・無効を0点のGP (grade point)とし、次の計算式で算出する。</p> <p>GPA = [履修登録した科目の単位数×当該科目のG P] の合計 / 履修登録した科目の単位数の合計(不合格を含む)</p> <p>○履修登録した科目のうち、GPA 計算式に算入しない科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ①成績を「合格」で評価する科目 ②他大学・研究科で単位修得した科目や、入学後に認定に関わる科目を各学部・研究科が「認定」とした科目 ③履修取り消しをした科目 ④教職に関する科目や学芸員関連科目 ⑤所属学部・研究科で指定した科目 	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/facts
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業の認定に関する方針として、学士課程の学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)において、「現代人として必要な基本的教養の修得と国際感覚の練磨をめざした教育を行うとともに、専門知識と総合的知識の双方を基礎にして物事を思索し、理解力、洞察力、実践力、指導力、解決力および品性を兼ね備えた人間を育成します。」とし、知識・理解、技能、実践的姿勢、統合的な学修経験と創造的思考力の4領域において、修得すべき能力を定めている。これを踏まえ各学部の卒業認定基準が定められており、それらは要覧や履修規程で学生に明示するとともに、ガイダンスでも説明されている。卒業の認定は各学部の教授会において審議され、基準に従って判定が行われている。なお、各学部等の卒業要件単位は、商学部 124 単位、経済学部 133 単位、法学部 128 単位、文学部 131 単位、理学部 130~140 単位、工学部 125~140 単位、医学部医学科 全学共通科目 49 単位及び専門教育科目の全科目、医学部看護学科 127 単位、生活科学部 126~142 単位である。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/university/mission (学位授与方針) https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/class/syllabus#regulations (各学部の卒業要件)

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	大阪市立大学
設置者名	公立大学法人大阪

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.upc-osaka.ac.jp/info/upco_info/financial/
収支計算書又は損益計算書	https://www.upc-osaka.ac.jp/info/upco_info/financial/
財産目録	
事業報告書	https://www.upc-osaka.ac.jp/info/upco_info/financial/
監事による監査報告(書)	https://www.upc-osaka.ac.jp/info/upco_info/financial/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:公立大学法人大阪2020年度年度計画・対象年度:2020年度)
公表方法:公立大学法人大阪のWebサイトで公開 https://www.upc-osaka.ac.jp/osakafu-content/uploads/sites/477/upco_2020annualplan.pdf
中長期計画(名称:公立大学法人大阪第1期中期計画・対象年度:2019年度~2024年度)
公表方法:公立大学法人大阪のWebサイトで公開 https://www.upc-osaka.ac.jp/osakafu-content/uploads/sites/477/upco_first_midtermplan.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/info_university/evaluation

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 【評価結果・平成27年度】 https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/info_university/evaluation/files/H27.pdf 【自己評価書・平成27年度】 https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/info_university/evaluation/files/H27jikohyokasyo_sentakuAB.pdf
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 商学部、経済学部、法学部、文学部、理学部、工学部、医学部、生活科学部
教育研究上の目的（公表方法：全学 HP）
（概要） https://www.osaka-cu.ac.jp/Plone/ja/about/facts 【学則に定める目的】 学術研究の中心として深く専門の学芸を研究し、かつ、学校教育法の規定に従い高い学問的教養を授けるとともに、人格の向上を図ること 【各学部の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的】 （商学部） https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/faculty/business （経済学部） https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/faculty/economics （法学部） https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/faculty/law （文学部） https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/faculty/literature （理学部） https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/faculty/science （工学部） https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/faculty/engineering （医学部医学科） https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/faculty/medicine （医学部看護学科） https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/faculty/nursing （生活科学部） https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/faculty/humanlife
卒業の認定に関する方針（公表方法：全学 HP）
（概要） 学士課程の 3 ポリシー https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/university/mission 【全学のディプロマ・ポリシー（抜粋）】 大阪市立大学は、学士課程教育を通して、現代人として必要な基本的教養の修得と国際感覚の練磨をめざした教育を行うとともに、専門知識と総合的知識の双方を基礎にして物事を思索し、理解力、洞察力、実践力、指導力、解決力および品性を兼ね備えた人間を育成します。 この目標を達成するために、所属学部において定める専門分野に関する知識・技能等を身につけ、学部の教育理念や目的に沿った指導を受け、所定の期間在学して所定の単位を修得し、審査や試験に合格した学生に学位を授与します。また、全ての学生が、 [知識・理解] [技能] [実践的姿勢] [統合的な学修経験と創造的思考力] の領域で以下のような学修成果を修めることをめざします。 【各学部のディプロマ・ポリシー】 （商学部） https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/faculty/business/index.html#dip （経済学部） https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/faculty/economics/index.html （法学部） https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/faculty/law （文学部） https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/faculty/literature

(理学部)

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/faculty/science>

(工学部)

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/faculty/engineering>

(医学部医学科)

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/faculty/medicine>

(医学部看護学科)

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/faculty/nursing>

(生活科学部)

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/faculty/humanlife>

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：全学 HP）

(概要) 学士課程の3ポリシー

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/university/mission>

【全学のカリキュラム・ポリシー（抜粋）】

1. 「現代人として必要な基本的教養の修得と国際感覚の練磨をめざした教育を行うとともに、専門知識と総合的知識の双方を基礎にして物事を思索し、理解力、洞察力、実践力、指導力、解決力および品性を兼ね備えた全人的人材を養成する」との大阪市立大学憲章に基づき、すべての学部で学ぶ学生が、「ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果」に示された知識・技能等を修得できるように、次の科目群を全学共通教育科目として設置します。学生は自らの学修意欲と興味関心、キャリアデザインに応じて、また各学部が定める履修規程に従って受講科目を選択します。

(1) 大学教育全般の基礎となる学習・研究能力の育成、広い視野に立った総合的な判断力の育成、現代社会に生きる人間に求められる普遍性をもつ教養の修得を目的とした総合教育科目

(2) 英語と英語以外の外国語科目

(3) 数学をはじめ自然科学分野の基礎教育科目

(4) 健康・スポーツ科学に関する知識・技能を育成する科目

2. 地域に基盤を置く公立大学で学ぶ学生としての意識を涵養するため、地域志向系科目をすべての学生が履修できるように学士課程全体を通じて配置します。

3. 地域で学ぶ社会の一員としての意識や国際的な視野を持ち、グローバル化し複雑・多様化する社会にあって、その変革に積極的に関与するために必要な知識・技能や実践的姿勢等を身につける体系的な教育プログラム（副専攻等）を、自らのキャリアデザインに応じて履修できるようにします。

【各学部のカリキュラム・ポリシー】

(商学部)

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/faculty/business/index.html#dip>

(経済学部)

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/faculty/economics/index.html>

(法学部)

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/faculty/law>

(文学部)

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/faculty/literature>

(理学部)

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/faculty/science>

(工学部)

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/faculty/engineering>

(医学部医学科)

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/faculty/medicine>

(医学部看護学科)

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/faculty/nursing>

(生活科学部)

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/faculty/humanlife>

入学者の受入れに関する方針（公表方法：全学HP）

（概要）学士課程の3ポリシー

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/university/mission>

【全学のアドミッション・ポリシー】

大阪市立大学は、学士課程の教育を通して、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果を修める学生を育成して教育目標を達成するために、人間性豊かで、多様な関心、柔軟な思考力を持ち、科学・産業・文化・社会の発展に寄与しようとする志を持つ、向学心旺盛で優れた資質を有する学生を、広く国内外から受け入れます。

そのために、本学の学士課程では以下の方針に基づいて、学生の多様な能力を評価するための入学選抜を実施します。従って、この方針をよく理解したうえで、高等学校までの学びを深め、広めることを期待します。

- （1）高等学校教育段階においてめざす基礎学力を確認します。
- （2）本学の全学共通教育に十分に対応できる準備性を備えていることを確認します。
- （3）各学部のアドミッション・ポリシーに示す資質を備えていることを確認します。

【各学部のアドミッション・ポリシー】

（商学部）

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/faculty/business/index.html#dip>

（経済学部）

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/faculty/economics/index.html>

（法学部）

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/faculty/law>

（文学部）

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/faculty/literature>

（理学部）

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/faculty/science>

（工学部）

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/faculty/engineering>

（医学部医学科）

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/faculty/medicine>

（医学部看護学科）

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/faculty/nursing>

（生活科学部）

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/faculty/humanlife>

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：全学HP

（組織図） https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/university/organization_chart

（学部・大学院・教育研究組織等） <https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	7人	—					7人
商学部	—	18人	13人	1人	0人	0人	32人
経済学部	—	16人	11人	0人	0人	0人	27人
法学部	—	21人	13人	0人	0人	0人	34人
文学部	—	35人	26人	2人	0人	0人	63人
理学部	—	51人	42人	11人	1人	0人	105人
工学部	—	51人	40人	10人	3人	0人	104人
医学部	—	54人	74人	119人	28人	0人	275人
生活科学部	—	19人	17人	4人	3人	0人	43人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		998人					998人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://research-soran17.osaka-cu.ac.jp/search?m=home&l=ja					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
（平成30年度各学部・研究科等のFD活動の取組） https://dlistv03.media.osaka-cu.ac.jp/il/meta_pub/G0000438repository_13492152-17-1-20							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
商学部	235人	235人	100.0%	940人	982人	104.5%	0人	0人
経済学部	220人	225人	102.3%	880人	939人	106.7%	0人	0人
法学部	165人	165人	100.0%	670人	708人	105.7%	5人	3人
文学部	155人	161人	103.9%	652人	716人	110.0%	16人	8人
理学部	160人	160人	100.0%	646人	678人	105.0%	3人	3人
工学部	286人	299人	104.5%	1144人	1249人	109.2%	0人	0人
医学部 （医学科）	90人	95人	105.6%	540人	589人	109.1%	0人	0人
医学部 （看護学科）	55人	56人	101.8%	220人	225人	102.3%	0人	0人
生活科学部	123人	127人	103.3%	492人	512人	104.1%	0人	0人
合計	1489人	1523人	102.3%	6184人	6598人	106.7%	24人	14人
（備考）医学部医学科（R2）は経過措置中であり、入学定員(a')95人、収容定員(c')570人。 b/a' =100.0%、d/c' =103.3%								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
商学部	202人 (100%)	5人 (2.5%)	183人 (90.6%)	14人 (6.9%)
経済学部	217人 (100%)	5人 (2.3%)	189人 (87.1%)	23人 (10.6%)
法学部	167人 (100%)	11人 (6.6%)	137人 (82.0%)	19人 (11.4%)
文学部	166人 (100%)	12人 (7.2%)	135人 (81.3%)	19人 (11.4%)
理学部	165人 (100%)	117人 (70.9%)	43人 (26.1%)	5人 (3.0%)
工学部	275人 (100%)	195人 (70.9%)	71人 (25.8%)	9人 (3.3%)
医学部 (医学科)	91人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	91人 (100%)
医学部 (看護学科)	57人 (100%)	3人 (5.3%)	47人 (82.5%)	7人 (12.3%)
生活科学部	126人 (100%)	24人 (19.0%)	95人 (75.4%)	7人 (5.6%)
合計	1466人 (100%)	372人 (25.3%)	900人 (61.3%)	194人 (13.2%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
商学部	227人 (100%)	179人 (78.9%)	26人 (11.5%)	12人 (5.3%)	10人 (4.4%)
経済学部	229人 (100%)	198人 (86.5%)	25人 (11.0%)	6人 (2.6%)	0人 (%)
法学部	173人 (100%)	145人 (83.8%)	24人 (13.9%)	4人 (2.3%)	0人 (%)
文学部	168人 (100%)	142人 (84.5%)	22人 (13.1%)	3人 (1.8%)	1人 (0.6%)
理学部	169人 (100%)	139人 (82.2%)	22人 (13.0%)	8人 (4.7%)	0人 (0%)
工学部	298人 (100%)	246人 (82.6%)	42人 (14.1%)	9人 (3.0%)	2人 (0.7%)
医学部 (医学科)	92人 (100%)	77人 (83.7%)	15人 (16.3%)	0人 (%)	0人 (%)
医学部 (看護学科)	57人 (100%)	54人 (94.7%)	2人 (3.5%)	1人 (1.8%)	0人 (%)
生活科学部	126人 (100%)	116人 (92.1%)	8人 (6.3%)	2人 (1.6%)	0人 (0%)
合計	1539人 (100%)	1296人 (84.2%)	186人 (12.1%)	45人 (2.9%)	13人 (0.8%)
(備考) 医学部医学科は修業年限が6年のため、2014年度入学者について記入					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) シラバスにおいて、授業名、担当教員名、授業の目的・到達目標、各回の授業内容、成績評価方法、成績評価基準、準備学習等についての具体的な指示、教科書・参考文献、履修条件等の情報を示し、Web サイトを通じて公開している。

(<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/class/syllabus#syllabus>)

年度の授業の計画については、履修案内等で公開している。

(https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/class/common_curriculum)

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 学修成果に係る評価の基準は、シラバスに明示している。

(<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/class/syllabus#syllabus>)

卒業認定に関する基準は、学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に定めている。

(<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/university/mission>)

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
商学部	商学科	124 単位	有・無	単位
	公共経営学科	124 単位	有・無	単位
経済学部	経済学科	133 単位	有・無	単位
法学部	法学科	128 単位	有・無	単位
文学部	哲学歴史学科	131 単位	有・無	単位
	人間行動学科	131 単位	有・無	単位
	言語文化学科	131 単位	有・無	単位
	文化構想学科	131 単位	有・無	単位
理学部	数学科	130 単位	有・無	単位
	物理学科	140 単位	有・無	単位
	化学科	138 単位	有・無	単位
	生物学科	134 単位	有・無	単位
	地球学科	136 単位	有・無	単位
工学部	機械工学科	134 単位	有・無	単位
	電子・物理工学科	130 単位	有・無	単位
	電気情報工学科	125 単位	有・無	単位
	化学バイオ工学科	135 単位	有・無	単位
	建築学科	136 単位	有・無	単位
	都市学科	140 単位	有・無	単位
医学部	医学科	全学共通科目 49 単位 及び専門教育科目の 全科目	有・無	単位
	看護学科	127 単位	有・無	単位
生活科学部	食品栄養科学科	142 単位	有・無	単位
	居住環境学科	126 単位	有・無	単位
	人間福祉学科	128 単位	有・無	単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)	公表方法： <文>学生の成績通知画面で公表 <工>履修要覧に記載 <生>GPA の数値を「成績通知書」及び「成績証明書」に記載している。また、GPA を奨学金対象者や成績優秀者を選出する際に使用する。大阪市立大学全学 Web サイトに掲載 https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/class/syllabus			

学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)	公表方法：〈文〉学生の成績照会画面で指標（7項目の学修成果を数値化したもの）を公表 〈工〉学生の受賞・表彰等の状況について工学部 HP (https://www.eng.osaka-cu.ac.jp/news/research-prize/) に掲載 〈生〉学生の受賞情報や資格合格率などを掲載 公表方法：大阪市立大学生活科学部・生活科学研究科 HP で公表 https://www.life.osaka-cu.ac.jp/
備考：	〈商〉*履修単位の登録上限について 第1学年：前期 20単位・後期 22単位 第2学年：前期 24単位・後期 26単位 第3・4学年は上限なし 〈経〉*履修単位の登録上限について 第1学年：前期 24単位・後期 24単位 第2学年：前期 27単位・後期 27単位 第3・4学年は上限なし

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：公表方法： https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/university/access
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
全学部・全学科		535,800円	大阪市民	円	
			及びその子	円	
			222,000円		
			その他の者	円	
			382,000円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組 (概要) 【OCUラーニングセンター】学生の自立的学修促進支援及び授業における学修成果向上支援のため、専属スタッフによる個別の学習指導等を行っている。 【障がい学生支援室】修学上の支援が必要な障がいのある学生について、学生が所属する学部・研究科の教職員と検討を行い、必要な支援(合理的配慮)を提供している。 【その他】教員が対応する「学生生活相談窓口教員」や「学生なんでも相談窓口」においても、修学上の相談を受け付け対応している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組 (概要) 「就職ガイダンス」(就職環境の動向に対応して多様なテーマで実施)や「学内セミナー」(年間延べ800社を超える企業様から実践的な情報提供)などの就職支援イベント、「個別指導」(キャリアコンサルタント資格や民間企業での職務経験豊かなスタッフによる個別面談)を通じて、低年次生から上位学年まで、進路選択に関する支援を行っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組 (概要) 【保健管理センター】健康上の様々な相談、診療において内科、神経精神科、整形外科の医師が対応している。また、日々の応急処置なども行っている。カウンセリングルームを設置し、臨床心理士(カウンセラー)によるカウンセリングも行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：

【教育情報の公表】

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/facts>